

シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校
2025. 1. 31



「創造につながる探究のカギを握る質問のクオリティ」

シラチャ日本人学校 校長 藤枝茂雄

新しい年が明けて早くも一か月が経過しましたが、皆さん、穏やかな新年を迎えられたことと思います。今年もよろしくお願いいたします。

さて、2023年度から現在までの約2年間のシラチャ校におけるカリキュラム・マネジメントを振り返ってみると、開校以来シラチャ校の伝統を作り上げてこられた前任の先生方の教育の積み重ねの上に、新たに「シラチャ・リポジトリ構想」という、総合的な学習の時間をコアとしたカリキュラム改善の実践を行ってきたということが言えると思います。

ここでは、大学の研究論文集などでよく使われる「リポジトリ」という、義務教育の世界では聞き慣れない言葉を用いていますが、「リポジトリ」自体は「収納庫」とか「倉庫」などの意味を持つ言葉です。つまりは、中学部第9学年(中学3年)から小学部第1学年までの学び(学習の「内容」と方法の



シラチャ校の教科横断的な学びの最高到達点の一つ「TED 決勝戦」— 生徒の発表、司会進行、ネイティブ英語教師との質疑応答、校長とディレクターの講評もすべて英語で行った。 中学部 2024年2月28日

「スキル」)が、最高学年の最高到達点から逆向き設計に密接に関連付けられた教育実践、及び学習成果のデータベース(集合体)を作り上げようという構想です。

それを実現するには、中学部最高学年の最高到達点の成果物のイメージ作りが不可欠です。そのために、そこに至るためのコンテンツ(内容)の集合体としての「シラチャ・ペディア2024」を、校長室で第1巻から第3巻まで、合わせて300話作成し、総合的な学習の時間における高度な探究的な学びの出発点としています。

また、シラチャ祭を、「総合的な学習の時間をコアとした教科横断的な学びにおける、各学年の最高到達点の発表の場」として位置付けています。そして、日本の学習指導要領の各学年や各教科等の「内容の取扱い」を踏まえながら、タイと日本のつながりをテーマとした学習を統合・再構成した創造的な成果物として、各学年や学部単位での発表を行っています。

これらについては、本校の児童生徒や先生方の真摯な努力の積み重ねによって、本校の特色ある教育として、一定の成果として示すことができているのではないかと考えています。

ところで、私達が求めている「最高学年における学びの最高到達点」に向けた教育の関心事として、「個別最適化の学び」があります。それに到達するために、今、それぞれの教室や教科の学びの場で特に意識していきたいと考えていることは、「児童生徒の発する質問のクオリティ(質)」の指導です。

「質問のクオリティ」について、私は、2学期の終業式で、2024 年に出会った

二つの素晴らしい質問を体育館の壇上から紹介しました。

そのうちの一つは、マングローブの苗の植樹活動をした時に中学部の生徒がマングローブ林保全センターの職員に対して行った、「どうしてここの泥はドブのにおいがするのですか？」という質問です。これは、教室でのコンピュータでの学びからは絶対に出てこない臭覚に基づくものであることはもちろんですが、さらに、その答えとなるべきものの内容には、有機物の分解や、川から流れてきた水に含まれる汚染物質を凝集し沈殿させる海水のフィルター的な機能など、たくさんの新たな学びに発展する要素が含まれているものでした。その質問が活動に参加した生徒から



チョンブリー海岸で実施したマングローブの植樹活動
中学部第7学年 2024年10月31日

出たということだけでも、マングローブ保全センターでの植樹体験を環境教育として新たにカリキュラムに位置付けた意味があったといえるものです。

もう一つの素晴らしい質問は、小学部6年生の修学旅行における泰緬鉄道訪問の事前学習の時のものでした。ある男子児童が、オンライン講義をしてくださっていた西南学院大学の片山隆裕先生(教授)に対して、「どうしてイギリス人や

オランダ人の犠牲者の数の話ばかりが出てきて、アジア各地から連れてこられたとされる労務者の犠牲者の数は出てこないのですか？」と質問しました。



事前学習で学んだ泰緬鉄道建設工事の最大の難所「アルヒル栈道橋」を歩く小学部6年生 2024年9月5日

私は教室の後ろ隅でその質問を聞いた時に、「これはいい質問だ」と、隣にいた工藤先生に話しかけたのですが、それとほぼ同時

に、オンライン中継のスクリーンに映っていた片山先生も、「これはいい質問ですね」と言われて、そのことについて、説明をしてくださいました。

ここで取り上げた「素晴らしい質問」を発した児童生徒たちは、その場で疑問に思ったり感じたりしたことを率直に言葉に表しただけの話で、そのことで先生から「良い質問だ」と褒められるとは予想などしていなかったでしょうし、もちろん、「良い質問をして褒められたい」という意図など全くなかったと思います。

だからこそ、問題の本質に迫る、あるいは本質を含むそれらの質問のクオリティの高さを評価して子供たちにフィードバックし、より多くの子供たちが、より深い探究的な学びの視点や出発点を形成することができるように押し上げる「指導者の専門性」がとても大切になるのです。

タイをテーマにした教科横断的な学びにおける質問のクオリティを評価し、その価値を子供たちにフィードバックするためには、タイでの身の回りに現れる事象に対する指導者自身の深い理解が必要です。校長室で「シラチャ・ペディア

2024」を作成・編集し、全校児童生徒や教員からのアクセスを可能にしているのも、そのような指導者サイドへのサポートの意味も含まれています。

探究的な学びのゴールは「調べてまとめること」ではありません。「新たな知の成果物を創造すること」がゴールです。言い換えれば、「創造につながる探究」を学校での学びの中で成立させなければならないのです。そのための大きなポイントの一つが、指導者も学習者も、探究の第一歩である「質問」のクオリティを意識することなのです。

そのようなことを意識した教室での学びは、近い将来、本校で学んだ子供たちが入試や採用などの集団討論などに臨むときに、面接官をうならせる「クオリティの高い質問や発言」を選択する力を身に付けることにつながるでしょう。

これから始まる新しい 2025 年の一年間で、子供たちのどんな素晴らしい質問に出会えるかがとても楽しみです。

児童生徒の皆さん、先生方、よろしくお願いします。

P.S.

1月16日(木)に5年生が実施した、三菱・モーターズ(タイランド)社での校外学習では、「あらかじめ児童の皆さんから送られてきた質問のクオリティがすごく高くて驚いた」と、所長さんが話してくださいました。

また、当日の質疑応答でも、「いい質問ですね」と、言葉に出して褒めてもらったものをはじめとして、優れた質問が次々に出されました。三学期始業式での校長講話を、さっそく形に表し、成長した姿を見せてくれた児童の皆さんに、限らない進歩の可能性を感じました。

チャンスをつかんだジャンタブリー

5年学年主任 佐原 晃祐

「えーんやこーら!」「よーやこーら!」、青く澄んだ海の向こうで泳ぐ子供たち。浜から見えるその姿は、海の中ではちっぽけでしたが、そこには大きなドラマがありました。



5年生は、12月3日から4日にかけてジャンタブリー臨海学校に行ってきました。「ジャンタブラボー

SEIZE A CHANCE!! 泳げる可能性 ENDLESS!!」のスローガンを一人一人が意識し、学年一丸となって取り組みました。

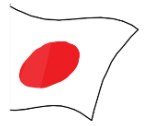
日中は、マーガングルアイというタイのバナナの葉を使った遊びをしたり、ビーチレクでは、砂浜に埋まっているお宝を掘り出したりしました。また、夕方から夜にかけてはキャンプファイヤーで炎を囲って思いっきり踊ったりするなど、一つ一つの活動を全力で楽しみました。そして、この臨海学校の最大の目的でもある遠泳では、今まで一生懸命に練習してきた成果を、精一杯発揮することができました。諦めそうになったり、怖気づいたり、それでもバディと励まし合ったり、勇気をもらったり、自分を信じたり…と、海の上ではたくさんのドラマがありました。それらのドラマを経てゴールした瞬間の子供たちは、みんな最高の表情を見せてくれました。

あっという間の2日間でしたが、普段の学校生活では決して学ぶことのできない貴重な経験をたくさんすることができました。その経験を今後の生活に活かし、更に大きく成長してくれることを願っています。





シラチャ中学部 2024年度 交流学習会 Cultural Exchange Meeting 2024



中学部長 北原 教史

2024年12月19日(木)に、Chonburi Sukkhabot School (スッカボット校)との交流学習会を本校にて開催しました。今年度のホスト校である本校に、スッカボット校の副ディレクターをはじめ総勢96名(職員17名、中学生64名、お手伝い生徒15名)をお招きし、様々な交流活動を通して、それぞれの文化理解やコミュニケーションを深めました。



この交流学習会を企画・運営するにあたり、7・8年生16名から成る交流学習会実行委員会を立ち上げ、2か月間ほど準備を重ねてきました。実行委員会では、アイスブレイク(お絵描き伝言ゲーム)や実行委員会企画(けいどろ、〇×クイズ)の企画・運営、学校紹介動画の作成、しおり表紙絵の募集・選考等を行いました。

今年度の交流学習会では、以下のような新たな試みにも挑戦しました。

新企画①【総合学習の成果発表】



これまでの交流学習会における日本文化の発表に加え、今年度はこの機会を総合学習における一つのゴールと捉え、各学年の代表者が英語で研究発表を行いました。中学部の総合学習において、7年は「企業×環境」、8年・9年は「タイ×〇〇」(〇〇は各自で設定)というテーマのもと、7・8年生はグループで、9年生は個人での研究を1年間続けています。その集大成として、各学年の代表生徒たちが同世代であるタイの中学生を相手に、英語で堂々と学習の成果を発表しました。

新企画②【ラウンド制の導入】

スッカボット校の生徒に、より多くの日本文化を伝える方法として、4ラウンド制(ローテーション)を取り入れました。8つのグループに分かれたスッカボット校の生徒たちが、グループごとに中学部が企画した体験活動4つ(①総合学習の発表会、②福笑い、③しおり作成、④夏祭りの出店)を15分ずつ体験しました。

新企画③【学校紹介動画の制作・上映】

タイと日本の双方の一日の学校生活を紹介し、互いの学校生活について理解を深める目的で、双方が学校紹介動画を制作しました。動画の上映後の質疑応答の時間では、生徒たちが英語やタイ語、日本語を使って、質問に対して回答をしている姿が見られました。



午前のプログラム	午後のプログラム
1. オープニングセレモニー	7. スッカボット校の学校紹介動画
2. シラチャ校の学校紹介動画	8. 文化体験活動(タイ)
3. アイスブレイク	9. クロージングセレモニー
4. 実行委員会企画	・合唱「思いやりの花」
5. 文化体験活動(日本)	・プレゼント交換
6. 昼食(日タイ生徒混合にて)	・写真撮影



の行事予定



第4回定期考査

2月11日(火)は、7、8年生を対象に、今年度最後の定期考査が行われます。今学習している内容だけでなく、この1年間で学習した内容も範囲となっている教科もあります。新しい学年になる前に、今年度学習した内容を復習できるよい機会ですね。

第3回授業参観

18日(火)は、今年度最後の授業参観です。小学部では、総合学習の成果を保護者に見ていただくよう計画している学年もあります。中学部では、4校時に3学年がホールに集い、英語の時間に各クラスで実施する予選を勝ち抜いた代表生徒による、英語プレゼンテーション大会(TED x Sriracha)を開催します。この1年間のお子様の成長ぶりを、是非ご覧下さい。

6年生を送る会

28日(金)は、小学部でこれまでお世話になった6年生にむけて、送る会を開催します。6年生はもちろんのこと、みんなにとって思い出に残る素敵な会になるとよいですね。

早期一時帰国者・退学者の通知表の作成

最終登校日	一時帰国	退学
2月10日(月)以前	<ul style="list-style-type: none"> ○通知表を作成します。 ○出欠の記録、所見、特活の記録等を記入します。 ○評価評定はしません。 ○3月13日(木)以降に、児童生徒または保護者にお渡しをします。 ※受け取りについては、担任とご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○通知表は作成しません。 ○口頭で学習状況等をお伝えします。
2月11日(火)以降	<ul style="list-style-type: none"> ○通知表を作成します。 ○上記の内容に追加し、評価できる項目を記入します。 ○3月13日(木)以降に、児童生徒または保護者にお渡しをします。 ※受け取りについては、担任とご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○3月13日(木)以降に郵送します。帰国後の住所と電話番号をお伝えください。 ※郵送方法については、担任とご相談ください。

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

日曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日(土)		
2日(日)		
3日(月)	・シラチャ作品展児童生徒鑑賞(6日まで) ・全校5時間授業	14:20 P1-6 M1-3 ★
4日(火)	・シラチャ作品展児童生徒鑑賞(6日まで) ・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
5日(水)	・シラチャ作品展児童生徒鑑賞(6日まで) ・購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
6日(木)	・シラチャ作品展児童生徒鑑賞(6日まで)・作品搬出(立体) ・購買(注文票提出日)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
7日(金)	・作品搬出(平面) ・学級だより配信(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
8日(土)		
9日(日)		
10日(月)	・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
11日(火)	・第4回定期考査(7,8年)・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
12日(水)	マーカプーチャ(暫定)	
13日(木)	・アクティブタイム(中学部) ・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
14日(金)	・委員会(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
15日(土)		
16日(日)		
17日(月)	・東京交響楽団来校&音楽鑑賞会・クラブ(小学部)・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
18日(火)	・第3回授業参観・4年生10歳の集い(3,4校時教室&体育館)・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
19日(水)	・縦割り班活動(1~6年)・購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
20日(木)	・購買(注文票提出日)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
21日(金)	・学級だより配信(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
22日(土)		
23日(日)		
24日(月)		14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
25日(火)	・定例委員会(中学部)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
26日(水)		14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
27日(木)		14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
28日(金)	・6年生を送る会・学校学年だより配信 ・水泳学習終	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3

各種証明書発行

例年、年度末に申し込みが殺到します。また、発行に要する期間は通常で原則1週間(休業日を含まない)ですが、春休みになると数週間お待ちいただくこともあります。申し込みを希望される方は、2月中に本校HPよりダウンロードを行い、必要事項を記入し、担任へ提出されるようお願い申し上げます。

【主な証明書】

- 在学証明書 成績証明書 卒業見込み証明書
- 卒業証明書 入学証明書 修了証明書

今年度末離任教員

今年度末をもちまして14名の教員が離任することになりましたので、お知らせいたします。

教頭	倉 博之	中学部長	北原 教史
教務主任	清水 徹	中学部長補佐	成岡 浩
1年学年主任	木村 久美子	7年1組担任	杉村 健人
3年3組担任	矢尾 みなみ	8年学年主任	橋本 宗樹
4年学年主任	田中 信裕	9年学年主任	中村 美奈子
5年学年主任	佐原 晃祐	養護教諭	高橋 千里
6年学年主任	工藤 隆太郎		
NET(英会話)	JAMES POULTNEY		